

事業所名		幼児教室とことごぼけっと		公表日			2025年 12月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		支援室の整理整頓に努め適切なスペースの確保をしています。	午前午後と提供時間が分かれているが、どちらかに偏らないように対応していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準配置より多く配置をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所が2階にあるためエレベーターを設置しています。下駄箱やロッカーなどにそれぞれの果物マークを付けて、自分で支度ができるようにしています。	階段を使用するお子さまの安全を随時確認してまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		受け入れ前の時間に清掃を行っています。活動内容によりテーブルや椅子を出したり片づけたりしながら、適した環境作りをしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		体調が悪い時に相談室を使うようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		年間計画を立て職員会議を利用して、全員が参加できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートで指摘があった点はすぐに対応できるよう努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議などで意見を把握して対応するよう努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は行っていないが、保護者からのご意見や自己評価の結果をもとに改善に努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		所内研修は月に1回行っています。	外部の研修に参加し、スキルアップに努めてまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和6年11月30日より公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用開始前に行う他、定期的な面談の中でアセスメント、評価を行いニーズを把握したうえで支援計画作成を行っています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		各クラスを担当制にしており、担当者が面談に同席しています。また、担当者会議を行う中で、複数人の視点からお子さま一人ひとりの支援の方向性を話し合っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		担当者から細かく支援内容や支援方法の伝達を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		他機関で実施した発達検査の結果について、所見をもとに支援計画を立てています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子さまの状況に応じ、一人一人に合わせた支援計画の作成を行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		年間計画、月案、日案を全員で役割分担しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		運動、机上製作、リズム、ゲーム、季節に合わせた行事など様々な遊びを取り入れていきます。同じ遊びであってもそれぞれに合わせ、ねらいや支援方法などを変えて提供できるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		年齢や成長、発達段階に応じて、それぞれに合わせた個別活動や集団活動ができるよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		開始前に、全員で支援内容の確認の打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後は個別の記録を記入しながら、全員で振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		その日の内容に沿った記録をとり、検証・改善点についてはすぐに話し合いが行えるよう努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		1年に2回以上実施し、必要に応じて計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	関係機関との連絡会議がある場合は児童発達支援管理責任者が参加しています。	機会があれば参加したいと考えています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		情報共有にとどまることが多いため、必要に応じて会議等に参加したいと考えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就園、就学に向けてはサポートブックや就学支援シートを作成しています。並行利用先の保育園・幼稚園は、訪問して見学を行い、情報共有や支援内容の相互理解に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学支援シートを作成しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		子ども家庭支援センターからの巡回訪問の際に助言をいただいています。	児童発達支援センターとの連携を図ってまいりたいと考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		サービスの提供時間の中では地域交流の機会が作られていませんが、公園等に出かけた時に交流になるよう努めています。	地域の保育園等のイベント情報などを参考に検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳やフィードバックを通じて、その日の様子を丁寧にお伝えし、課題や支援方法などの共通理解に努めています。また、保育見学の機会を設け、お子さまの集団での様子を見ていただくとともに、必要に応じて解説を交えながら支援方法の共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	プログラムとしてはありませんが、保護者の相談内容の解決方法を一緒に検討したり、自宅でできる取り組みを提案したりしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時や変更があった時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別面談の時間を設けて、目標やご希望、ご意向を伺っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別面談の時間を設けて、目標や支援内容をお伝えし同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		年間2回の個別面談を設定していますが、それ以外でも、療育参加、参観の際に育児のヒントなど助言をしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会や就学に関する座談会を開催しています。また、今年度は保護者同士が自由に子育ての悩みなどを話せる座談会も開催しています。	保護者向けの学習会や交流会を開催できるよう努めてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		気軽に申し入れができるような雰囲気づくりをしています。申し入れがあった場合は迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		お便りを毎月1回発行しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者に個人情報の取り扱いについて説明を行い了承を得ています。写真や名前など個人が特定されるものに関してはその都度内容に合わせて対応しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		一人一人の発達段階、特性に合わせたアプローチを行っています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	サービスの提供時間の中では地域交流の機会が作れていません。	作品展などで地域の方を招待できるかについて、検討してまいりたいと考えています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは閲覧ファイルにて開示しています。年間の研修計画に沿って研修、訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年間の研修計画に沿って研修、訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認をしています。食事提供はありませんが、おやつを考えて確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に沿って管理、研修、訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者会やお便りでお知らせしています。安全計画は閲覧ファイルで開示しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについて職員ミーティングで共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修計画に沿って委員会、研修、訓練を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		対象となるお子さまはいませんが、支援中にお子さまの学びやすさのため、手を添えるなどの補助を行うことをご了承いただき、計画に記載しています。	